

平成27年度 関ヶ原古戦場整備事業の取組方針と進捗状況

関ヶ原古戦場ビジターセンター基本構想の検討、国指定史跡の整備、史跡等案内板や誘導サイン整備など、古戦場への観光客の受入環境整備を推進する。また、リレー講演会の開催や観光プログラムの充実、特産品開発やガイドの活用・育成といったソフト面での取組みも充実する。

〔事業費総額 約4.2億円〕

1. ビジターセンターの整備推進 (25百万円)

【取組方針】

- ・ 関ヶ原町歴史民俗資料館の北側空き地に建物を増床。
- ・ 展示内容も一新し、「関ヶ原古戦場ビジターセンター」としてリニューアル。
- ・ 増床に合わせて、古戦場を一望できる眺望機能も付与。

【スケジュール】

- ・ 平成27年度 基本構想、基本計画、展示詳細計画を策定。
- ・ 平成28年度 建物の詳細設計、建物・展示のリニューアル工事に着手。
- ・ 平成29年度 建物・展示のリニューアル工事を実施。
- ・ 平成30年度 「関ヶ原古戦場ビジターセンター」をオープン。

【進捗状況】

- ・ 基本構想、基本計画等の策定作業を補助する委託事業者を公募中。
6月から基本構想の策定に着手。

2. 映像コンテンツ等の制作 (85百万円)

【取組方針】

- ・ 関ヶ原古戦場を紹介する各種映像コンテンツを制作。
- ・ 関ヶ原古戦場ビジターセンターでの活用を見据え、展示コンセプトを踏まえたコンテンツ制作を実施。

【スケジュール】

- ・ 平成27年度
ビジターセンターでの展示や関ヶ原古戦場のPR活動に利活用できる映像コンテンツを一部制作。
- ・ 平成28～29年度
ビジターセンターのリニューアル工事に併せて、メイン展示物等を構成する映像コンテンツを本格的に制作。

【進捗状況】

- ・ 技術提案を含む企画公募を実施し、8月からの制作着手を予定。

3. 「関ヶ原アーカイブス」収集資料の基礎調査（5百万円）

【取組方針】

- ・ 関ヶ原に関わる各種資料が閲覧可能な「関ヶ原アーカイブス」を整備。
- ・ 旧関ヶ原北小学校の校舎を再利用して閲覧室、資料室等を整備する予定。

【スケジュール】

・ 平成 27 年度

関ヶ原の戦いを題材として、戦後に著作・制作された「小説」、「映画」、「ドラマ」、「舞台」、「漫画」、「アニメ・ゲーム」等のリストアップ、入手の可否、購入経費等を整理する基礎調査を実施。

関ヶ原アーカイブスの整備を含む「旧関ヶ原北小学校利活用基本計画」を策定。

・ 平成 28 年度

資料収集に着手するとともに、追加の基礎調査等も実施。

旧関ヶ原北小学校の校舎建物について、補強工事、外装改修、内装工事等を順次、実施。

・ 平成 31 年度

「関ヶ原アーカイブス」の運用・公開を開始。

【進捗状況】

- ・ 調査事項を精査のうえ、8月からの調査開始を予定。

4. 関ヶ原駅前観光交流館の整備（76百万円）

【取組方針】

- ・ JR関ヶ原駅前に、観光案内所、物販、休憩スペース、コインロッカー、トイレ等を備えた「関ヶ原駅前観光交流館」を整備。

【進捗状況】

- ・ 4月30日に着工し、10月上旬のオープンを予定。
- ・ オープニング・イベントの実施。

5. 国指定史跡の整備（55百万円）

【取組方針】

- ・ 景観復元や眺望確保、史跡と一体的に整備する区域を拡大するなど、史跡の保全とその価値の向上を図る整備を実施。

- ・ 説明案内表示の充実や古戦場らしい装飾を行うなど、古戦場史跡への来訪者が満足感を得られる取組みを実施。

【スケジュール】

・ 平成 27 年度

「徳川家康最後陣地」について、再整備事業を実施。

- 老朽化した施設（トイレ、噴水等）、景観を損なう工作物等の撤去
- 馬印や幟旗、陣幕の設置など、古戦場らしい装飾
- 便益機能（遊歩道、東屋等）の整備 など

その他の国指定史跡等について、今後の「活用整備計画」を策定。

- 開戦地、決戦地、桃配山（徳川家康最初陣地）、石田三成陣地、岡山烽火場、大谷吉隆墓、東首塚、西首塚、松尾山城跡

・ 平成 28 年度以降の整備計画案

	H28	H29	H30	H31	H32
石田三成陣地、決戦地	整備				
開戦地		整備			
大谷吉隆墓		整備			
桃配山（家康最初陣地）			整備	整備	
松尾山				整備	整備

【進捗状況】

- ・ 史跡関ヶ原古戦場保存整備検討委員会を設置し、第 1 回目の委員会を 5 月 12 日（火）に開催。
- ・ 第 1 回目の町民参加によるワークショップを 6 月 12 日に実施予定。現在、参加者を募集中（既に複数、申込みあり）。

6. 案内板や誘導サインの整備等（50百万円）

【取組方針】

- ・ 統一デザイン、設置ガイドライン、西濃広域における設置計画を策定。
- ・ 設置ガイドラインに基づき、各市町において誘導サインと各遺跡ごとの説明案内板の設置工事を実施。
- ・ 観光客のゲートウェイとなる関ヶ原 I C や関ヶ原駅周辺を、古戦場の町にふさわしく装飾。

【スケジュール】

・ 平成 27 年度

主要な遺跡（約 30 箇所）について、説明案内板や道路からの誘導サインを設置。

J R 関ヶ原駅前の大型観光案内看板を全面リニューアル。

J R 関ヶ原駅や関ヶ原 I C 周辺を、古戦場らしく装飾。

・ **平成 28 年度以降**

ビジターセンターのリニューアル工事等の進捗状況に併せて、誘導サインの設置等を実施。

【進捗状況】

- ・ 統一デザイン、設置ガイドライン、設置計画の策定にかかる委託事業者を公募中。6 月から策定に着手。
- ・ 西濃地域の市町と連携して、「関ヶ原の戦い」関連史跡等のピックアップと、説明案内板や誘導サインの設置箇所を選定中。
- ・ 関ヶ原駅について、駅前観光交流館との景観調和に配慮した装飾の実施に向け、J R 東海と協議中。
- ・ 関ヶ原 I C のロータリー空き地に、「馬防柵」など古戦場の町を P R する工作物を設置できるよう、NEXCO 中日本と協議中。

7. 旧関ヶ原北小学校の利活用 (63 百万円) ※内閣府に補助金申請中

【取組方針】

- ・ 旧関ヶ原北小学校建物を、古戦場来訪者への便益施設等として再利用。
 - 関ヶ原アーカイブス閲覧室
 - 歴史学習会等が実施できるセミナールーム
 - 常設型体験プログラム提供施設（甲冑着付け体験など）
 - 関ヶ原鉄砲隊など住民グループの活動拠点
- ・ 活用見込の無い体育館とプール施設について撤去工事を実施し、古戦場の景観を復元。

【スケジュール】

- ・ **平成 27 年度**
体育館とプール施設について撤去工事を実施。また、「旧関ヶ原北小学校利活用基本計画」を策定。
- ・ **平成 28～31 年度**
旧関ヶ原北小学校の校舎建物について、補強工事、外装改修、内装工事等を順次、実施。
- ・ **平成 31 年度**
施設の全面運用開始を予定。

【進捗状況】

- ・ 県と町で共同申請した「関ヶ原古戦場を核とした広域観光推進計画」について、3 月に内閣府から「地域再生計画」の認定を取得。
- ・ 現在、計画に基づき「地域再生戦略交付金」を交付申請中。
(6 月末に交付決定予定)

8. その他のソフト事業 (56百万円)

【取組方針】

- ・ 機運醸成に向けた有識者講演会等の実施。
- ・ 西美濃全体の周遊観光につなげるための取組みの推進。
- ・ 「これぞ関ヶ原古戦場」というPR素材づくり。
- ・ 観光ガイド、ボランティアガイドの活動促進・人材育成。
- ・ 域内消費の拡大に向けた特産品開発。
- ・ 海外古戦場との交流推進。

【進捗状況】

以下の取組みについて、西濃地域の市町、事業者との協議を進めており、各プログラムをスケジュールに沿って順次実施。

〔機運醸成〕

- ・ 「関ヶ原の戦い」をテーマとした有識者リレー講演会の開催。
(会場は、大垣市、垂井町、関ヶ原町。計4回)

〔周遊観光推進〕

- ・ 7月～11月の間、定期観光プログラムを実施。
- ・ 「関ヶ原の戦い」周遊ガイドマップを作成。
- ・ 愛知県と連携した全国観光キャラバンの実施。

〔PR素材づくり〕

- ・ 「秋の古戦場風景」をテーマにした写真コンペティションの実施。

以下の取組みについては、関ヶ原町において関係者等との協議・調整を進行中。

〔ガイド、ボランティアの活用促進・育成〕

- ・ 役場屋上での古戦場解説を組み込んだガイドツアーの催行や勉強会等の実施に向けて、5月19日、地元関係者との打ち合わせを実施。

〔特産品開発〕

- ・ 関ヶ原町内事業者等と特産品開発に向けた検討会の立ち上げに向けて、5月19日、準備会を開催。

〔海外古戦場との交流〕

- ・ ワーテルローの戦い200周年を記念した再現劇「ワーテルローの戦い2015」の視察と、これらを紹介する企画展示の実施に向けて、ワーテルロー市と協議中。
- ・ ゲティスバーグ区との友好交流の推進に向けて協議中。
(中学生同士が郷土を紹介する手紙のやりとりを実施予定)